

エシカルWEEK2025【第1週】

-食品ロス削減への道-「導入編」

答えと解説



ヒーローからの挑戦、見事クリア！

あなたの行動が、食品ロスを減らすヒーローの第一歩になったぞ！それでは、答え合わせをしていこう！

Q1 食品ロスの量はどうなっていると思う？

正解：B 「みんなの努力で年々減っている」

【解説】日本の食品ロスは少しずつ減ってきているよ。みんなのがんばりが成果を出しているよ！

Q2 2023年に出た食品ロス、より多かったのは？

正解：A 「みんなの家庭から」

【解説】現在は、お店や工場よりも、家庭からの食品ロスの方が多いんだ。家での工夫がとっても大事になるよ！

Q3 家庭から出る食品ロスで一番多いのは？

正解：A「直接廃棄（期限切れなど）」

【解説】食べる前に捨てちゃうのは、もったいないよね。買いすぎに気をつけよう！

Q4 最近、まだ食べられるのに捨てたものはあった？

【解説】ちょっと振り返るだけで、食品ロスを減らすコツが見えてくるよ！

Q5 生ごみの水分を減らすと環境にやさしいって知ってた？

【解説】生ごみのほとんどは水分。水切りするだけで、ゴミも減って地球にやさしくなるよ。

次は、第2週「買い物編」！

買い物時のちょっとした工夫で食品ロスを減らす方法を探ります。



配信予定：10月13日（月）

参加方法はWEBのみ！



チラシのQRコード、LINE、アプリ、Instagramのプロフィールリンクなどからアクセスできます。

お友だちにもシェアして、ヒーロー仲間を増やそう！
ぜひ、次の挑戦にも参加してください。

食品ロスって
なあに？



食品ロスについて考えよう

本来
食べられるのに
捨てられてしまう
食品のことを
言うんだ

ここで日本の食品ロスについて見てみよう

日本の「食品ロス量」

約**464万トン**



事業系

約231万トン



家庭系

約233万トン

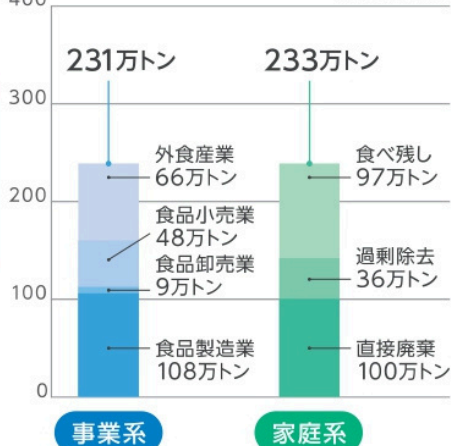


国民1人当たり
食品ロス量

1日約**102g**
年間約**37kg**

資料：
食品ロス量
(令和5(2023)年度推計)
総務省人口推計
(2023年10月1日)

(単位:万トン)



出典:消費者庁HP

※直接廃棄:
賞味期限・消費期限が
切れるなどして、
そのまま廃棄される食品

※過剰除去:
野菜や果物の皮を
厚くむきすぎる等、
食べられる部分まで
除去して廃棄される食品

食品ロスは どうして問題なの？

それには
いくつかの問題があるんだ

もったいないから



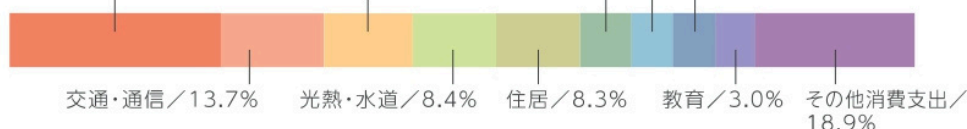
食べられるのに捨てられる食品は、作るためにかった水・エネルギー・手間がムダになります。

お金の
ムダにつながるから

食品ロスには、廃棄コストや
生産・流通にかかった費用も
含まれており、
経済的な負担になります。

家計における食費の状況

食料 / **26.0% (63,597円)**



環境への影響が大きいから

食品を焼却処分する際にCO₂が排出され、
地球温暖化の原因になります。



世界には**食べ物**が足りない人もいるから

日本の食品ロス量は、国連世界食糧計画の食料支援量の約1.2倍にもなり、
支援が必要な人々に届かない現実があります。

出典:農林水産省・環境省推計(令和3年度)

君は賞味期限切れで食べ物を捨てていないか？

消費期限は「食べても安全な期限」、賞味期限は「おいしいめやす」。
もったいないを減らして食品ロスを削減しよう！

※開封後は期限にかかわらず、なるべく早めにお召し上がりください。

一人ひとりの小さな行動が、よりよい未来をつくるんだ！
まずは身近な習慣から見直してみよう。



問題に向き合う
ことが大切だ！